

<色別表示の見方>

■:目標達成(網掛け)

□:目標未達成

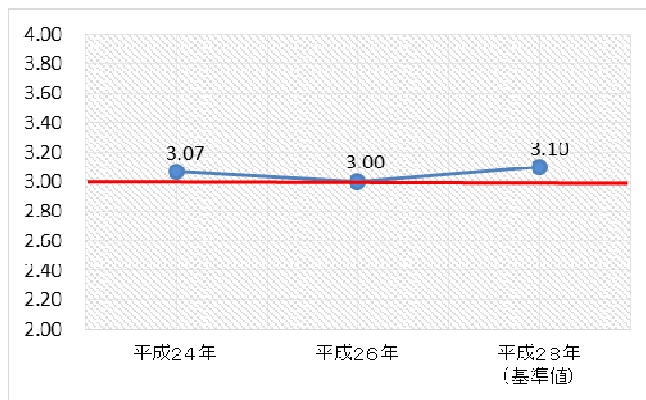
第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
42	411	福祉のまちづくり	福祉体験教室開催回数	回/年	14 [H22]	16	41	達成	市内の学校(小・中・高)に対し、佐久市社会福祉協議会が社会福祉普及校指定事業制度(補助額上限3万円)により助成するとともに、地域の実情に合わせ、特性を生かした活動内容の提案・情報提供といったサポートを行うなど、学校の負担の軽減に努めたところ、目標値を大きく上回ることができた。	市内の小・中・高校生を対象とした福祉体験学習などを充実し、福祉の心を育てる教育を推進します。

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：福祉のまちづくり

- 障がいのあるなしにかかわらず支え合える地域福祉の推進
- 福祉に関するボランティア活動の促進
- 障がい者や高齢者の社会参加の促進

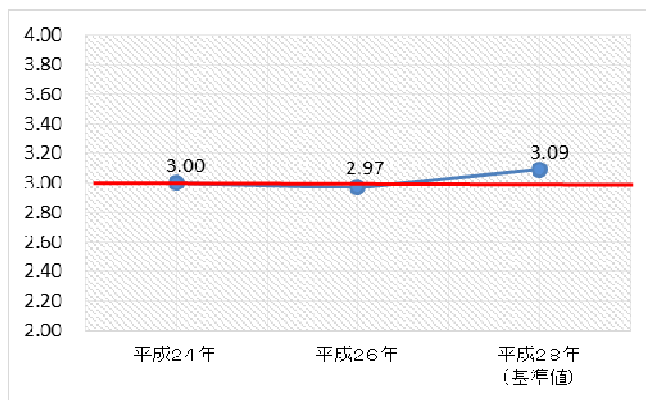


アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.15
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、平成26年に平均点まで下降したが、平成28年は0.1上昇した。今後は、第三次佐久市地域福祉計画を策定し、市民の社会福祉意識の高揚を図るとともに、社会福祉協議会や民生児童委員など関係機関との協働により、地域コミュニティを育成し、市民満足度の上昇を目指す。目標値は、平成24年から28年の4年間で0.03上昇していることから、今後5年間で0.05の上昇を目指す。</p>	<p>・第三次佐久市地域福祉計画を策定し、市民の社会福祉意識の高揚と、地域コミュニティの育成を図るとともに、地域住民と関係機関との協働により、総合的な地域福祉ネットワークの充実を図ります。</p> <p>・社会福祉協議会、NPOなどと連携し、ボランティアを育成するとともに、組織の充実と活動を促進します。</p> <p>・全ての人々が地域で安心して暮らすことができるよう、ユニバーサルデザインの視点による公共施設などの整備や改修を推進します。</p>	

#### 第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
43	412	高齢者福祉・介護保険	介護予防事業の延べ参加者数	人/年	19,095 [H22]	23,500	22,399	未達成	事業の重要性の周知などにより、参加者数は増加したが、平成28年度の介護保険制度の改正に伴う事業見直しに併せ、市と民間事業者とのサービス提供区分を見直したことにより、市で実施している介護予防事業から地域事業所で実施している介護予防教室等への移行者があったことから、目標を達成することができなかった。	高齢者のいきがい対策事業、生活支援事業、栄養や運動を中心とした介護予防事業などを推進します。

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：高齢者福祉・介護保険

- 高齢者支援サービスの推進
- 高齢者福祉施設の整備
- 介護保険の適正な運営
- 成年後見制度の利用促進

アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.10
<p>満足度指数は、平均値前後だったものが、平成28年に0.12ポイント上昇した。これは、地域包括ケアシステムの構築、介護保険の適正な運営などにより、不満と回答した人の割合が減少したことによると考える。</p> <p>引き続き施策の推進に努めることにより、上昇した満足度指数の維持を目指す。</p> <p>目標値は、微増の3.10とする。</p>	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が住み慣れた地域で、安心・安全に生活が継続できるよう、地域の特徴を生かした包括的支援事業を推進します。</li> <li>・在宅医療・介護の各分野の連携により、在宅医療24時間体制などの整備を促進します。</li> <li>・認知症高齢者を地域で見守り、支えていくため、「認知症にやさしい地域づくりネットワーク運営委員会」において地域の特徴に合わせた見守り体制を構築するとともに、引き続き認知症サポーターの養成などの認知症施策を推進します。</li> <li>・高齢者が自立した生活を送るため、高齢者自身がお互いに支え合うことのできる生活支援体制の整備を促進します。</li> <li>・介護保険法に基づき、適正な事業運営を推進します。</li> </ul>	

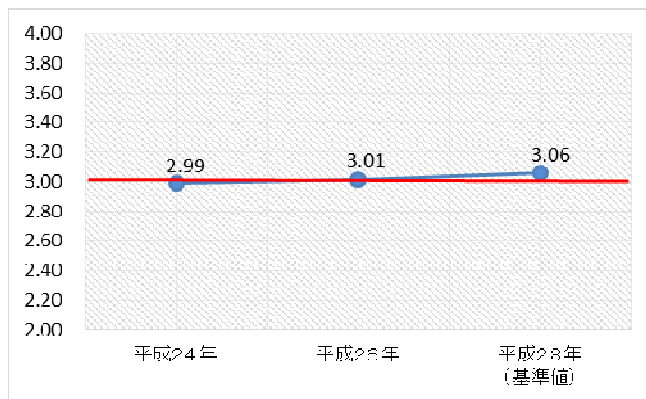
第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
44	413	障がい者福祉	相談支援事業実施事業所数	事業所	5 [H22]	20	15	未達成	事業の重要性等を周知したことにより、事業所数は増加したが、相談支援専門員の養成が困難なことなどにより、目標を達成することができなかった。	利用者のニーズに応じた適切な福祉サービスを提供することにより、障がい者が地域の一員として自立し、社会参加できる環境づくりを推進します。

施策名：障がい者福祉

- 障がい者福祉サービスの充実
- 障がい児及び発達が気になる児童などに対する支援
- 障がい者施設の充実
- 障がい者の社会参加の支援

市民アンケート満足度指数の推移



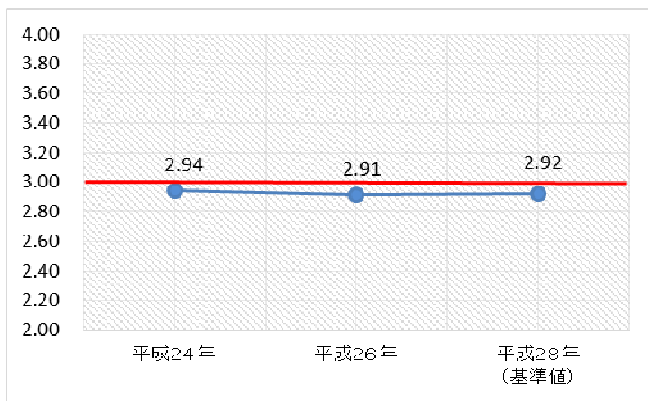
アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.11
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、平均値前後ではあるが、上昇傾向にある。</p> <p>今後も関係機関との連携による適切なサービス提供やきめ細やかな支援を行うことにより、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、平成24年から28年の4年間で0.07ポイント上昇していることから、今後も年+0.01ポイントの上昇を見込み3.11とする。</p>	<p>・家族、地域、関係機関と行政が一体となり、障がい者が住み慣れた地域で安心して生活できる環境整備を進めます。</p> <p>・障がい者の自立した日常生活や社会参加のため、講座、教室、各種相談事業、就労支援などの充実に努めます。</p> <p>・障がいを理由とする差別に関する相談に的確に応じることができるよう、関係機関と連携し、必要な体制整備を図るとともに、障がいを理由とする差別の解消に向け、啓発を推進します。</p> <p>・関係機関と連携し、障がいの早期発見、早期支援とともに、家族支援を促進します。</p> <p>・グループホームなど、障がい者の地域生活の場の整備を支援します。</p>	

#### 第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
45	414	母子父子福祉・低所得者福祉	高等技能訓練促進費・自立支援教育訓練給付金受給者数	人/年	4 [H22]	6	5	未達成	ひとり親家庭の親に対し制度の周知を行ってきたが、目標値を達成することができなかった。要因として、ひとり親家庭において子育てと訓練受講における時間及び生活費の確保、両立が図りにくい状況によるものと考えられる。	就業機会の拡大により経済的自立を図るため、高等職業訓練促進給付金、自立支援教育訓練給付金、高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金などの活用を促進します。

施策名：母子父子福祉・低所得者福祉  
 ●母子・父子家庭福祉の充実  
 ●低所得者福祉の充実

市民アンケート満足度指数の推移



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)
<p>満足度指数は、平均値より低い値で横ばい傾向にある。                      今後は、関係団体と連携し、子どもの居場所づくりのための支援の実施を検討するとともに、相談支援体制、日常生活支援のさらなる充実を図るなど、ひとり親家庭への支援の充実と、生活保障・自立支援の充実を図ることにより、満足度の上昇を目指す。                      目標値は、平均値である3.00を目指すこととする。</p>	<p>3.00</p>
<p>第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの居場所づくりのため、関係団体と連携して、食事の提供や学習支援の実施を検討します。</li> <li>・子ども特別対策推進員、母子・父子自立支援員、就業支援員などによる各種相談体制や日常生活支援の充実を図ります。</li> <li>・生活困窮者の経済的・社会的自立のため、関係機関や民生児童委員などと連携し、相談支援体制の充実を図ります。</li> </ul>	

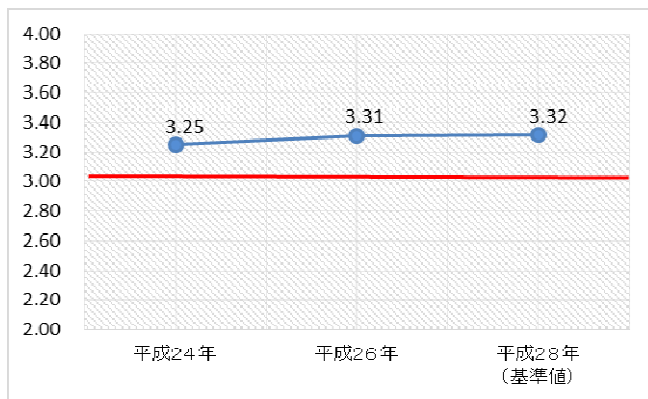
#### 第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				最終評価	結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績				
46			ぴんころステーション延べ参加者数(市開催分)	人/年	1,715 [H22]	2,000	1,847	未達成	野沢山門市で実施していたステーションを栄養士会に委託したことや、地域集団健診の結果報告会での栄養指導が全て個別対応のみに内容変更になったことにより、参加者数は目標に達しなかったが、目的とする健康・栄養相談の場の確保はできていると考える。	地域における保健活動の主体となるよう、保健補導員や食生活改善推進員を育成するとともに、研修などを充実し、より一層地域の自主活動を促進します。	
47	421	健康増進	3歳児のむし歯保有率	%	26.71 [H22]	20.00	23.03	未達成	むし歯判定の基準について、長野県の通知により、平成25年度から「サホライド塗布歯」の扱いを、サホライド塗布の有無ではなく、脱灰の有無により判定をすることとなったため、むし歯保有率が平成24年度の20.89%から平成25年度には25.12%と、4.23%高くなった。対策として、平成28年度から「子どもの歯の教室」を、2歳児を対象を絞った「2歳児歯っぴー教室」として実施したが、短期間の取組で効果を得ることは困難であることから、目標を達成することができなかった。	乳幼児から高齢者までの各年代における歯や口腔の健康や疾病予防などの各種事業を実施し、市民の意識の高揚を図ります。	

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：健康増進

- 地域保健組織（保健補導員会など）の育成
- 健康づくり活動の推進
- 食育の推進
- 健康管理システムの整備



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.33
満足度指数は、他の施策と比べても高い値を維持している。 引き続き保健補導員や、食生活改善推進委員など、地域に根差す健康の担い手を地道に養成し、満足度の維持、向上を目指す。 目標値は、高い満足度を維持することを目指し、微増の3.33とする。	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健補導員が任期終了後も地域において自主活動ができるよう支援します。</li> <li>健康に関する講演会や講座を開催し、市民の健康に対する意識の高揚を図ります。</li> <li>地域が将来にわたって「健康長寿」であり続けられるよう、健康長寿のより一層の増進のための施策を推進するとともに、「健康長寿のまち」の魅力在国内やアジアを始めとする国外に発信します。</li> <li>市民が生涯にわたり健康で暮らせるよう、市広報紙を通じ「食を大切に作る心を育む」ことについて啓発を図ります。</li> </ul>	

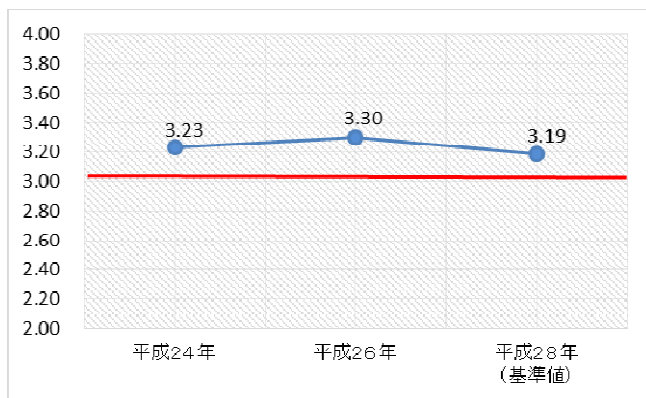
第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				最終評価	結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績				
48	422	保健活動	メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合	%	25.2 [H22]	15.2	公表前直近H27 26.1	未達成見込み	特定健診・特定保健指導の実績集計は、毎年、次年度の10月末に国保連の統計データから抽出されるため、現時点では算出されていない。ここ数年の傾向では、ほぼ横ばいながら微増傾向である。医療機関での個別健診や人間ドックなどの受診者に対しては、事後指導や特定保健指導の実施が難しいといった課題もあり、メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少まで至らず、目標は達成できなかった。	喫煙、食生活、運動などの生活習慣を改善する一次予防活動や特定保健指導を中心に、保健指導の充実に努めます。	

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：保健活動

- 生活習慣病予防の推進
- 高齢者保健の充実
- 感染症予防対策の推進
- 精神保健の充実

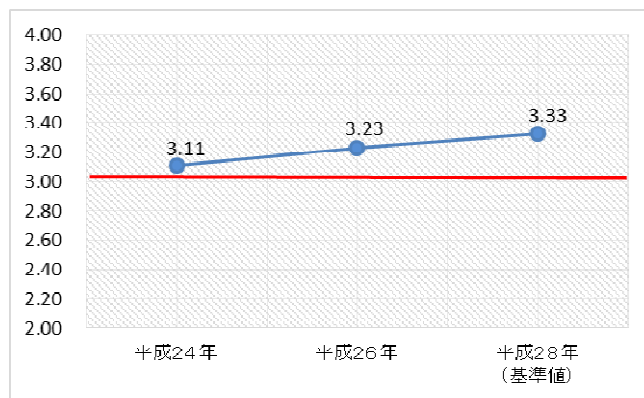


アンケート結果の分析及と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.24
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、他の施策に比べ高い値を維持しているが、平成28年は0.11下降している。</p> <p>これは「どちらでもない」と回答している方が増えていることから、取組自体が日常生活の中で浸透した結果によるものとする。</p> <p>今後も、さらなる保健活動の充実、感染症予防対策の推進、心の健康づくりの啓発に努め、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、平成24年程度までの上昇を見込み3.24とする。</p>	<p>・市民の生活習慣の改善に向けた「新しい保健」の取組をさらに推進します。</p> <p>・商工会議所、各商工会、学校などで健(検)診の受診勧奨や健康講話を開催し、予防意識を高めることで、健康診断の受診率向上を図ります。</p> <p>・感染症に関する情報の収集や発生時の体制整備など、感染症流行の予防とまん延の防止に努めます。</p> <p>・心のほっとライン・佐久*や窓口相談などの相談機能を充実させるとともに、自殺予防に関わるゲートキーパーの養成を推進します。</p> <p>・精神障がい者が地域で安心して生活できるよう、生活相談などの支援に努めます。</p>	

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
49	423	医療	浅間総合病院第二次整備事業進捗率	%	0 [H22]	100	100	達成	計画のとおり、平成29年1月に建設工事がしゅん工し、3月19日供用開始した。	良質な医療を安定的に提供し続けるため、地域や時代の要請に対応した医療機器や施設の計画的・効率的な更新を進めます。

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：医療

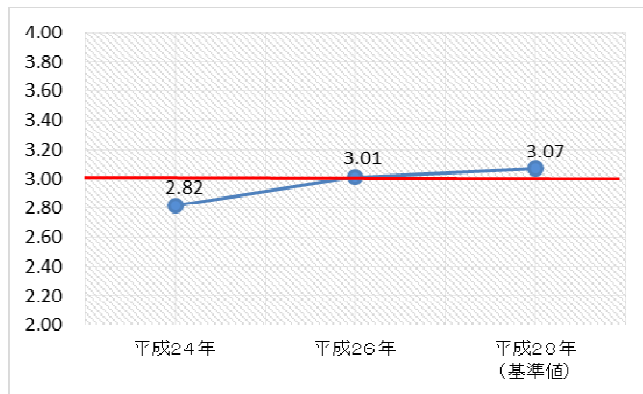
- 地域医療体制の充実
- 浅間総合病院の充実

アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.34
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、上昇傾向にあり高い値となっている。 引き続き地域医療体制の充実と浅間総合病院の充実を推進し、満足度の維持、向上を目指す。 目標値は、高い満足度を維持することを目指し、微増の3.34とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国の医療施策の動向や市民ニーズを踏まえ、関係機関と連携し医療体制の充実を図るとともに、患者の診療情報の共有化などの相互連携について検討します。</li> <li>・ 地域全体で医療を守っていくため、病状などの状況に応じた「医療機関のかかり方」や身近なところできめ細かな医療を提供する「かかりつけ医」を持つことについて啓発を図ります。</li> <li>・ 休日小児科急病診療センター、平日夜間急病診療センター、休日救急歯科診療所など、地域の救急医療体制について、佐久医師会、佐久歯科医師会などの協力を得ながら充実を図ります。</li> <li>・ 県の地域医療構想を踏まえた「佐久市立国保浅間総合病院改革プラン」に基づき、市民が必要とする医療の提供を行うため、医師を始めとする人材確保や経営基盤の強化に努めます。</li> </ul>		

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
50	424	医療保険・国民年金	国民健康保険税収納率(現年課税分)	%	90.26 [H22]	100	93.63	未達成	督促・催告状の発送、専任徴収員の雇用による臨戸訪問の強化、全職員での滞納整理、未申告者への申告勧奨等を行い収納率は向上しているが、納税者の生活等の状況もあり、目標を達成することができなかった。	国民健康保険税の収納率向上のため、滞納者との早期折衝を図るとともに、滞納処分を強化し、滞納額の縮減を図ります。

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：医療保険・国民年金

- 国民健康保険の健全運営
- 後期高齢者医療制度への対応
- 国民年金制度の適正な推進

アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.10
<p>満足度指数は、上昇傾向にある。これは、国民健康保険財政の健全化に向けた取組や保険税(料)の収納率の向上、窓口等における資格等管理事務の適正化によるものと考えられる。</p> <p>高齢化が進む中で、将来にわたり安定した医療保険運営を図ることが重要となるが、今後の保険税(料)の改定などにより満足度指数は下降することが予想される。しかし、保険給付費の縮減に向けた取組や保険税(料)収納対策の強化、各制度の分かりやすい広報などにより、満足度の現状維持を目指す。</p> <p>上記により、目標値は基準値+0.03とし、若干ではあるが上昇するように取り組むこととする。</p>	<p>第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的で持続可能な医療保険制度の運営のため、5か年ごとに財政健全化計画を策定し、計画に基づく取組を進めます。</li> <li>・糖尿病などの重症化を予防し、保険給付費を縮減するため、健康診断の結果などから抽出した対象者に対する保健指導の強化を図ります。</li> <li>・疾病の早期発見・早期治療を促進するため、特定健康診査の受診率の向上を図り、保険給付費の縮減に努めます。</li> <li>・イベントでの啓発などにより、ジェネリック医薬品の使用を促進します。</li> </ul>	



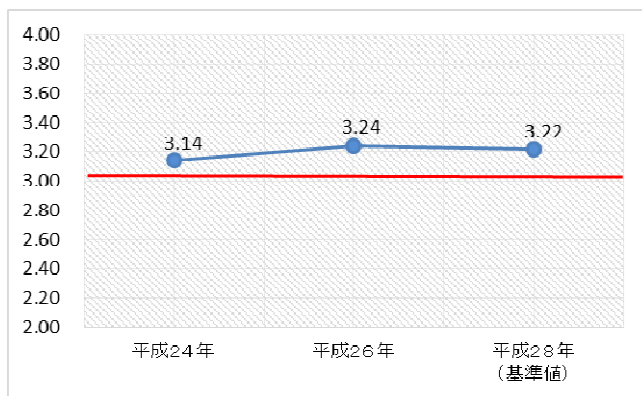
第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
51	431	母子保健	こんにちは赤ちゃん事業における新生児訪問率	%	96 [H22]	100	98.0	未達成	「こんにちは赤ちゃん事業」は、出生の届出時等で周知することにより高い訪問率が維持できている。しかし、子どもの長期入院や、出産後の転出予定等、個々の事情により訪問ができない場合もあるため、目標は達成できなかった。	乳幼児の健やかな成長のため、健康診査と診査後のフォロー教室・相談体制の充実を図ります。

施策名：母子保健

- 母子保健事業（乳幼児健診、乳幼児の予防接種など）の推進
- 思春期保健事業（いのちの尊さを学び母性父性を育む 機会の充実）の推進

市民アンケート満足度指数の推移



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.24
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
満足度指数は、横ばい傾向であるが、平均より高い値となっている。今後も、結婚、妊娠、出産、育児における切れ目のない施策の充実により、満足度の維持を目指す。目標値は、若干の上昇を見込み基準値+0.02とし、3.24とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚や子育てに対する意識の高揚を図るため、未婚の若者を対象とした恋愛・結婚・子育てに関するイベントなどを引き続き実施します。</li> <li>・不妊・不育治療の助成を通じ、安心して不妊治療を受けられる環境づくりを推進するとともに、妊娠・出産の適齢期について考える機会の充実を図ります。</li> <li>・妊産婦に対する経済的負担の軽減を図るため、福祉医療費給付金の支給を引き続き実施します。</li> <li>・妊娠期からの切れ目のない支援を継続するため、パパママ教室やこんにちは赤ちゃん事業などの各種事業の充実を図り、出産・育児支援を推進します。</li> <li>・予防接種の必要性や効果などの啓発を図り、適切な接種を推進します。</li> </ul>	

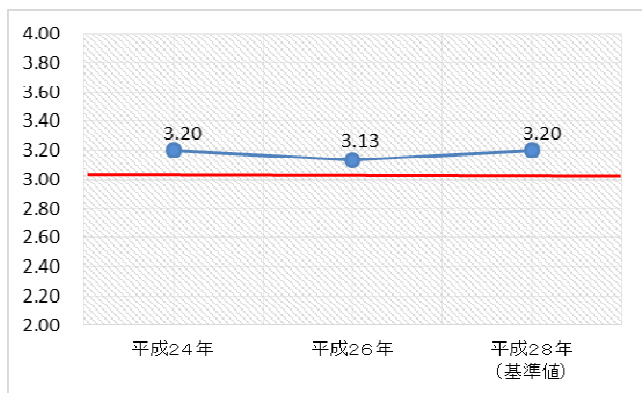
第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
52	432	子育て支援・児童福祉	子育てサロンの延べ利用者数	人/年	7,908 [H22]	8,300	7,553	未達成	乳幼児の定期検診時などに事業の周知に取り組んだが、目標値を達成することができなかった。要因としては、少子化による対象年齢児の減少や女性の社会進出等により3歳未満児の保育園入園が増えているため、子育てサロンを実際に利用できる対象児童数の減によるものと考えられる。	多様化するニーズに対応するため、子育てサロンやつどいの広場などの子育て支援事業を推進するとともに、多くの方が参加できるよう、広報活動の強化を図ります。
53			つどいの広場の延べ利用者数	人/年	15,099 [H22]	15,800	24,791	達成	開催会場を3会場から5会場に増やしたことによる開催回数の増加や、講座内容の充実を図ったことから、目標を達成することができた。	
54			児童館の延べ利用者数	人/年	303,975 [H22]	319,000	299,784	未達成	利用者数増加のため、児童館の企画や運営に子ども達が参加し子ども達が楽しめる児童館運営を行ってきたが、少子化による児童の減少や、利用児童の固定化により、目標値を達成することができなかった。	

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：子育て支援・児童福祉

- 子育て支援ネットワークの拡充
- 保育サービスの充実
- 児童館の整備と運営



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.25
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、平成26年に下降が見られたが概ね横ばい傾向にある。今後も多様化するニーズに対応し、子育て支援事業、保育サービス、児童館運営などの充実を図ることにより、満足度の上昇を目指す。目標値は、年間+0.01を見込み3.25とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが不安や悩みを解決できるよう、「チャイルドライン」を支援するとともに、保護者の育児不安を解消するため、相談・指導内容の充実を図ります。</li> <li>・児童虐待の早期発見と早期対応、予防のため、関係機関と連携し、啓発の強化を図ります。</li> <li>・子育て世帯の負担軽減を図る各種施策について検討します。</li> <li>・施設の統合や民間活力の導入を検討するとともに、施設の改築や設備の充実など、保育環境の整備を推進します。</li> <li>・乳児保育、延長保育、休日保育、病児・病後児保育など、ニーズに応じた保育内容の充実を図るとともに、保育士の確保に努めます。</li> <li>・地域の自然を生かした屋外活動を中心に、地域の文化などを取り入れた保育を推進します。</li> </ul>		

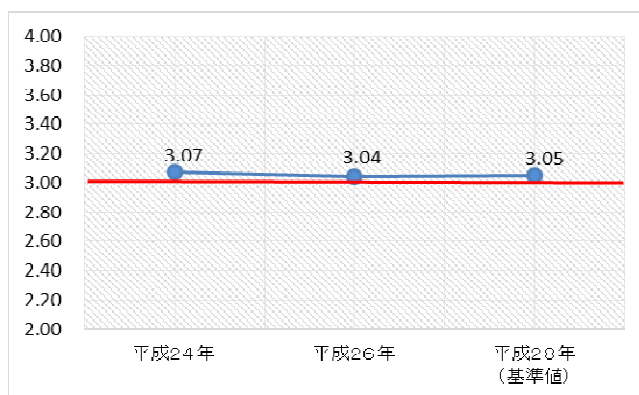
## 第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				最終評価	結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績				
55	511	環境保全	市内家庭の総消費電力	MWh/年	239,143 [H22]	191,315	公表なし 直近H27 219,159	未達成 見込み	平成28年度は電力自由化に伴い、中部電力が市町村別の「販売電力量」を非公表としたことから、最新値は平成27年度数値となる。これまで省エネやクールシェア・ウォームシェア等の啓発により、市民生活においても省エネ行動は意識され、総消費電力量は年々減少しているが、日常において一定のエネルギー量は必要であり、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	エネルギーの地産地消を推進するため、太陽光や木質バイオマスの適切な利用を促進するとともに、水力や地中熱などの普及についても検討し、再生可能エネルギーのさらなる利用促進を図ります。	

### 市民アンケート満足度指数の推移

施策名：環境保全

- 総合的環境施策の推進
- 環境保全対策（地下水の保全や公害防止など）の推進
- 地球環境保全（省エネルギーや環境負荷低減）の啓発や実践



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.06
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、横ばい傾向にある。今後も環境保全に係る各種施策を展開し、良好な自然環境や生物多様性が確保された住みよい生活空間を創り出すことにより、満足度の上昇を目指す。しかし、過去の満足度の変動が小さいことから、目標値は微増の3.06とする。</p> <p>・地域共有の貴重な財産である地下水を保全し、健全な水循環を確保するため、地下水賦存量を明らかにし、地域の水は地域で守る活動を推進します。</p> <p>・効果的な環境施策の展開を図るため、緑の環境調査を継続的に実施し、分析を進めます。</p> <p>・特定外来生物を始め、生態系への脅威となっている様々な要因の軽減に向けた取組を推進します。</p> <p>・佐久市地球温暖化対策実行計画を策定し、温室効果ガスの排出削減に向けた省エネルギー行動を促進します。</p> <p>・わが家のエコ課長フォローアップ事業を拡充するとともに、学校教育における環境学習メニューの充実を図ります。</p> <p>・老朽化した平根発電所の計画的な改修や更新を進めるとともに、農業用水路などを活用した水力発電設備の導入を促進します。</p>		

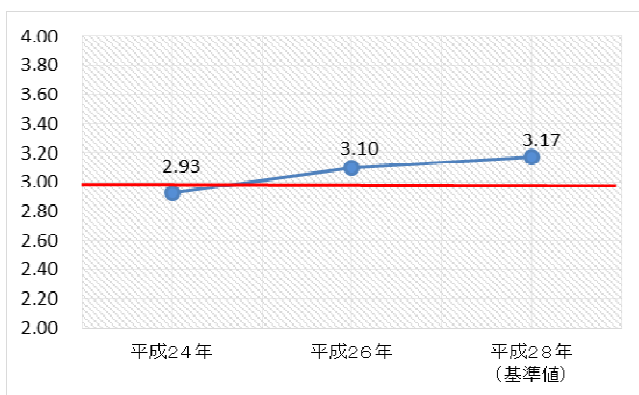
第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				最終評価	結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績				
56	512	街並み緑化・公園・景観形成	平尾山公園の入場者数	人/年	411,947 [H22]	420,000	262,272	未達成	平成28年度はセンターハウス改修工事による施設の閉鎖、酷暑や暖冬の影響により利用者が大幅に減少した。 また、スキー人口の減少などにより計画期間を通して減少傾向であり、目標を達成できなかった。	安全で快適な公園の利用環境を確保するため、公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の計画的な補修・更新を進めるとともに、適切な維持管理に努めます。	
57			都市公園の整備面積	m <sup>2</sup> /人	7.94 [H22]	9.82	8.76	未達成	公園整備事業を推進しているが、平成28年度に新たな公園整備の完了がなかったため、面積の増加はなく、目標は達成できなかった。 要因としては、佐久総合運動公園整備事業への国の補助金の減額による、計画の遅れなどが挙げられる。 なお、総合運動公園については、本年度、整備計画を見直しする中で、平成32年度の野球場の供用開始を予定している。	・総合運動公園の早期完成を目指し、計画的に整備を進めます。 ・市内の公園の設置状況や利用状況などを踏まえ、計画的に公園の整備を進めます。	

施策名：街並み緑化・公園・景観形成

- 公園の整備推進
- 公園の適正な維持管理と利用
- 水辺空間の整備
- 緑化の促進
- 良好な景観形成の推進

市民アンケート満足度指数の推移



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.20
満足度指数は、大幅に上昇傾向にある。これは、市民交流広場や佐久総合運動公園の整備によるものと考えられる。今後も佐久総合運動公園内の野球場、クロスカントリーコースの整備などの公園施設の充実により、目標値の上昇を目指す。 目標値は、既に高い値となってきたことから5年間で+0.03を見込み3.20とする。	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑の基本計画の見直しを行い、緑地の保全と街並みの緑化を推進します。</li> <li>・緑化活動への新たな団体の参加を促進するため、積極的なPRに努めます。</li> <li>・潤い豊かな水辺空間を創出するため、地域やボランティア団体との協働により、草刈やゴミ拾い、花の植栽など、河川的环境美化活動を推進します。</li> <li>・公園の維持管理方法などの見直しを行い、幅広い団体のアダプトシステムへの参加を促進します。</li> <li>・長野県屋外広告物条例、佐久市景観条例・景観計画などに基づく規制、誘導により、「原風景」の保全を図るとともに、「原風景」と調和した「新風景」の育成を推進します。</li> </ul>	

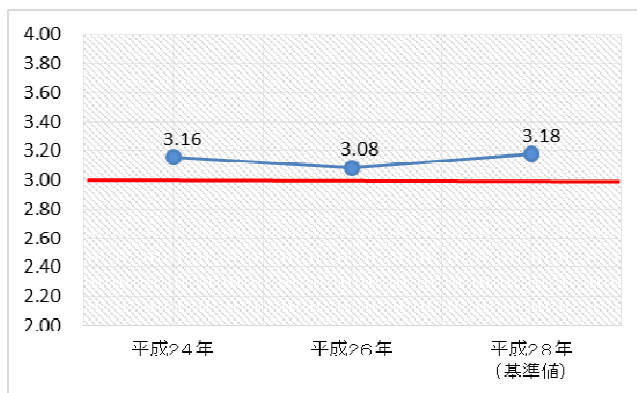
## 第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
58	521	環境衛生	家庭系ごみの排出量	t/年	21,384 [H21]	19,591	18,980	達成	生ごみの堆肥化、雑がみの資源化、また分別の徹底などの周知により、目標を達成することができた。  可燃ごみに含まれる雑がみの資源化を指導、啓発を行ってきたが、事業系ごみについては、目標を達成することが出来なかった。	・ごみの減量化や分別の徹底、リサイクルについての啓発を強化します。 ・家庭から発生する生ごみの堆肥化を促進するため、生ごみ処理機などの購入費用に対する補助制度の普及を図るとともに、佐久市堆肥製産センターにおける臼田地区の生ごみの堆肥化を推進します。
59			事業系ごみの排出量	t/年	5,296 [H21]	4,670	5,632	未達成		

施策名：環境衛生

- 廃棄物（ごみ）処理対策の推進
- し尿・汚泥対策の促進

市民アンケート満足度指数の推移



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.20
満足度指数は、平成26年に下降したが、平成28年には0.1の上昇となっている。これは、平成27年度に生ごみ処理機等購入費補助金の購入要件を緩和し生ごみの堆肥化を推進したことや、埋め立てごみの分別基準の見直しなどによるものと考えられる。 今後もこれらのごみ処理対策を継続的に行うことにより、満足度の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.02を見込み3.20とする。	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)	
	・処分場の延命化を図るため、処理施設の適正な維持管理に努めます。 ・平成31年度の稼働を目指し、佐久市・北佐久郡環境施設組合や関係者との連携を深め、新クリーンセンターの整備を促進します。 ・ポイ捨てや不法投棄を防止するため、関係機関と連携し、監視活動、啓発活動の強化を図ります。 ・し尿処理施設の適正な維持管理と効率的な運営を促進します。	

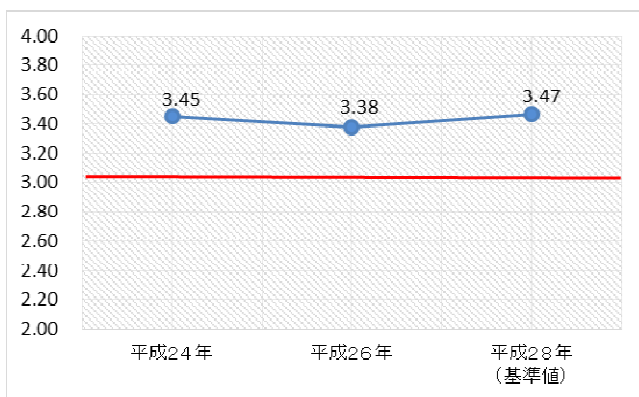
## 第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
60			上水道有収率 (年間総配水量に対して収入となった水量の割合を示すもの)	%	84.0 [H22]	90.0	84.5	未達成	老朽化した施設の有収率向上対策を促進しており、水道事業者が順次対応しているが、対象施設・設備が多数存在するため、目標を達成することができなかった。	水道事業者と連携し、水道施設の維持管理体制の強化を促進するとともに、中長期的な視点による施設の更新と将来の水需要を見据えた効果的な施設整備を促進します。
61	522	上水道	水源余裕率 (1日最大配水量に対して確保している水源水量がどの程度余裕があるかを示すもの)	%	16.2 [H22]	22.0	25.2	達成	節水意識の向上や人口減少等による年間使用量の減少に伴い、1日最大配水量が減少し、確保している水源水量に余裕ができたため、目標を達成することができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地利用の現況把握や地下水調査など、水源地の保全活動を継続して実施します。</li> <li>水源地域保全のため、水源地を保有する市町や周辺市町村と連携し、広域的な上水道施策を促進します。</li> <li>水資源の有限性、水の貴重さ、節水の必要性について、水道事業者と連携し、啓発を推進します。</li> </ul>

施策名：上水道

- 水資源の保全
- 上水道の整備・管理

市民アンケート満足度指数の推移



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.49
<p>満足度指数は、非常に高い値で横ばい傾向である。これは、生活に欠かすことのできない水道水のほとんどが地下水と湧水を水源としており、水源保全地域の指定等を行うなど、関係団体等により良質な水の安定供給が図られていることによると考えられる。</p> <p>今後も水資源の保全に向けた取組、水資源の有限性や水の貴重さをより啓発していくことで、市民満足度の維持、上昇を目指す。</p> <p>目標値は、既に高い値となっているため微増を見込み3.49とする。</p>	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道事業者と連携し、管路などの耐震化を促進するとともに、非常時におけるバックアップ体制が可能な配水システムの構築を促進します。</li> <li>市が給水を行う小規模水道では、老朽化した施設の更新や施設の耐震化を推進し、施設の適正な維持管理と安定給水の確保を図ります。</li> </ul>

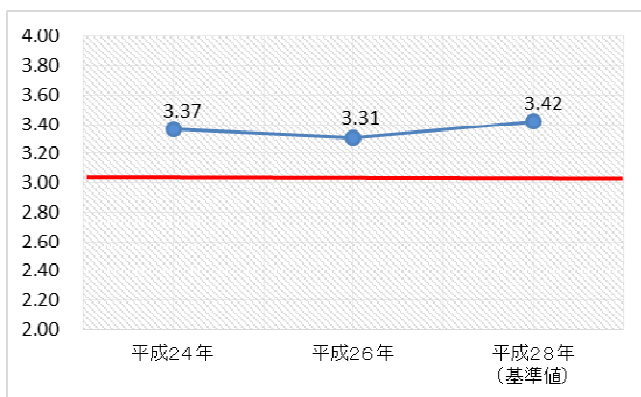
## 第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
62	523	下水道	下水道整備面積	ha	2,931 [H22]	3,032	2,961	未達成	平成28年度は西屋敷地区、荒宿地区などの整備を行い面積は増加しているが、現在集落排水と公共下水道の統廃合事業を優先しており、下水道整備面積は目標を達成できなかった。	公共下水道の未普及箇所について、費用対効果を検証しながら、効率的な整備を進めます。
63			水洗化率	%	86.9 [H22]	90.9	92.8	達成	未接続区域への下水道整備が進み、宅内工事をする世帯が増加したため、目標を達成することができた。	水洗化促進策として、引き続き未水洗化世帯への戸別訪問を推進します。
64			下水道使用料収納率(現年分)	%	96.8 [H22]	100	97.1	未達成	現年度分収納率は年々伸びているものの、一部の未納者が固定しているため、決定的な収納率向上に繋がっておらず、目標は達成できなかった。	下水道使用料の収納率向上を図るため、民間の技術や経験の活用を図るとともに、上水道関係機関との連携強化を図ります。

### 市民アンケート満足度指数の推移

施策名：下水道

- 公共下水道の整備と管理
- 下水道の健全経営
- 合併処理浄化槽の普及と管理
- 生活排水処理施設の統廃合



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.47
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、非常に高い値で横ばい傾向である。</p> <p>今後も水洗化の推進を図るとともに、下水道の健全経営の推進を図ることにより、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、平成24年から28年の4年間で+0.05していることから、年+0.01を見込み3.47とする。</p>	<p>・人口減少が進行していることから、平成19年度に策定した生活排水処理基本計画の見直しを行い、人口規模に見合った総合的かつ効率的な生活排水処理施策を推進します。</p> <p>・水環境の保全を図るため、施設や設備の適正な維持管理に努めるとともに、長期的な視点による計画的な更新や機能強化を進めます。</p> <p>・経営の安定化と効率化を図るため、生活排水処理施設の新たな統廃合計画を策定し、計画的な統廃合を進めます</p>	